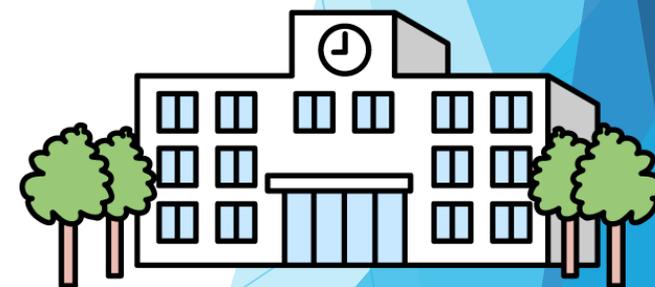


三浦市学校教育ビジョン

～すべては子どもたちのために～



三浦市教育委員会

【市民から聞こえてくる声…】

- ▶ 小学校が8校から3校になるんだって？
- ▶ どの小学校がなくなるの？
- ▶ どこが残るの？

▶ **しかし…**

- ▶ 小学校の**統廃合は「目的」ではなく「手段」の一つ**

- ▶ 目的は…

「未来を生きる三浦市の子どもたちのために
学校教育を充実させ、
教育の質を向上させる」こと

- ▶ 未来を生きる子どもたちのために
- ▶ これからの三浦市の学校教育は
- ▶ どうあったらいいのかを示したもの
- ▶ それが **「三浦市学校教育ビジョン」**

子どもたちが生きる「未来社会」って？

予測が困難な社会（VUCA）

Volatility（変動性）
Complexity（複雑性）

Uncertainty（不確実性）
Ambiguity（曖昧性）

- ▶ 科学技術・グローバル化・情報化が急速に進展
- ▶ 今の子どもたちの65%は、今ない職業に就くとの予測
- ▶ 20年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性高い
- ▶ 2045年には、人工知能が人類を越えるとの指摘



<https://i.ytimg.com/vi/1y86bOTESu4/hqdefault.jpg>

▶ GPSガイダンスシステム



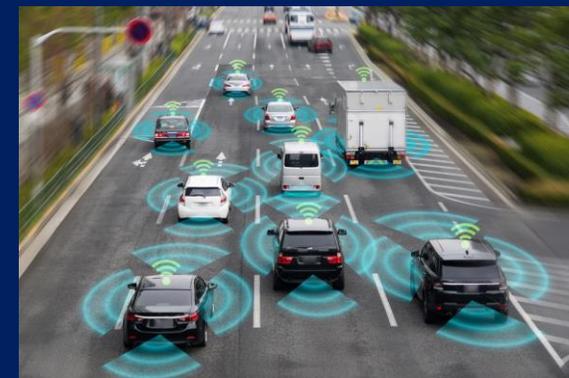
<https://dime.jp/genre/files/2019/01/2-30-7.jpg>

無人コンビニ



<https://www.bing.com/images/>

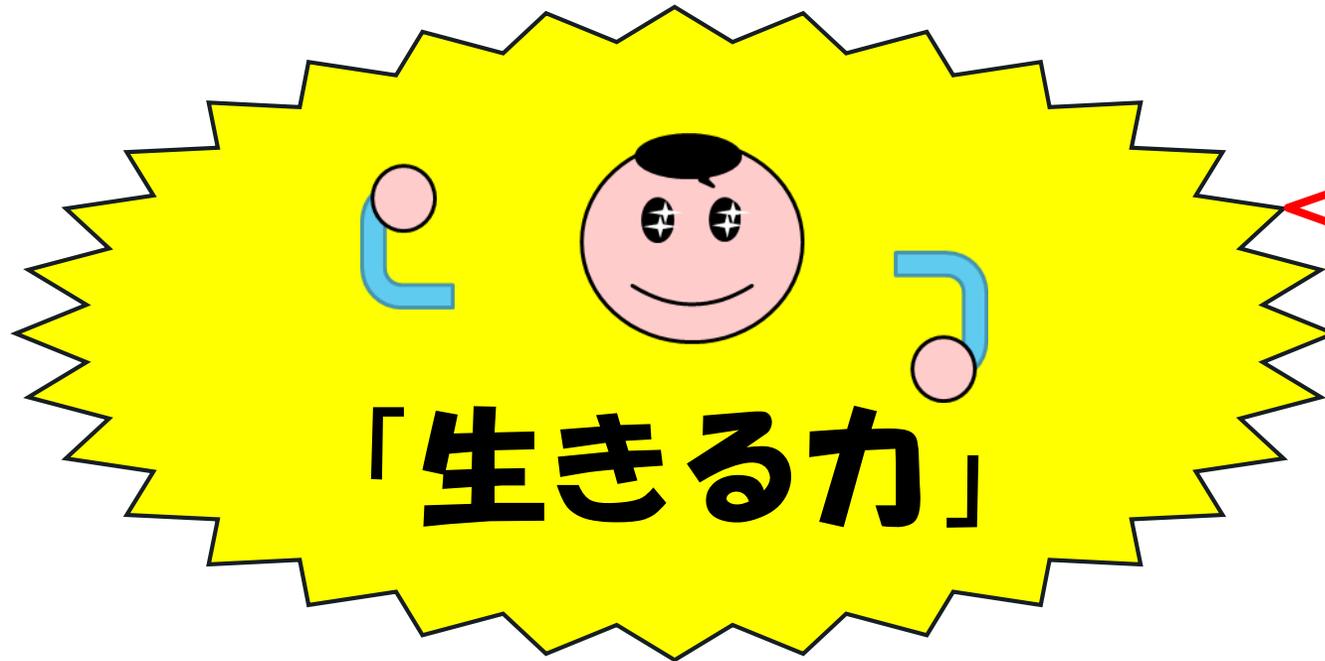
AIによる画像診断



<https://www.bing.com/images/search?view=detailV2&ccid=zHE3noKc&id>

自動運転技術

未来社会の中で、自分らしく生きていくためには・・・



【例えば】
問題を見だし、
自ら考え、
他者と協働して
解決していく力

どのように育んでいくのか・・・
今 学校教育に求められている大きな課題

子どもたちに「生きる力」を育んでいくためには…

- ▶ ①基礎・基本を重視しつつ、
- ▶ 「主体的・対話的な深い学び」の授業づくり
 - ▶ 子どもが自分の考えをしっかりと持ち、
 - ▶ 他者の考えと交流し合い、考えを深め、
 - ▶ 学ぶことの楽しさを共有する授業
- ▶ ②質の高い授業が提供できる学校づくり ○○○



教員がともに
成長できる学校
(OJT)

◆このような学校環境を三浦市にもつくっていききたい

三浦市の学校教育の現状は…

学校の小規模校化が止まらない
→市内8小学校のうち5校が全学年単学級

1. 現在の小学校児童数と将来数

() 内数値は、新入学児童数

学校名	R 元年度	R2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R6 年度
三崎小学校	140 (24)	126 (15)	116 (14)	106 (14)	95 (11)	91 (13)
岬陽小学校	148 (20)	138 (24)	143 (24)	149 (25)	144 (28)	152 (31)
名向小学校	214 (18)	188 (26)	181 (24)	153 (25)	147 (23)	142 (26)
三崎地区計	502 (62)	452 (65)	440 (62)	408 (64)	386 (62)	385 (70)
南下浦小学校	121 (21)	103 (9)	104 (20)	104 (18)	100 (12)	97 (17)
上宮田小学校	272 (35)	265 (33)	243 (30)	215 (28)	197 (30)	185 (29)
旭小学校	151 (25)	149 (21)	148 (23)	152 (28)	150 (30)	157 (30)
剣崎小学校	66 (10)	67 (4)	70 (17)	70 (12)	61 (8)	58 (7)
南下浦地区計	610 (91)	584 (67)	565 (90)	541 (86)	508 (80)	497 (83)
初声小学校	464 (70)	451 (71)	442 (78)	435 (66)	432 (71)	392 (36)
初声地区計	464 (70)	451 (71)	442 (78)	435 (66)	432 (71)	392 (36)

※R 元年度は実数、R2 年度以降は R1. 5. 20 現在学齢簿より推計した数値

【三崎地区 3小学校（R6年度）】※（ ）はクラス数

	年中	年長	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
三崎小	8	18	13(1)	11(1)	14(1)	14(1)	14(1)	23(1)
岬陽小	14	19	31(1)	28(1)	25(1)	24(1)	24(1)	21(1)
名向小	20	21	26(1)	23(1)	25(1)	24(1)	26(1)	18(1)

【南下浦地区 4小学校（R6年度）】※（ ）はクラス数

	年中	年長	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
南下浦小	8	6	17(1)	12(1)	18(1)	20(1)	10(1)	20(1)
上宮田小	22	27	29(1)	30(1)	28(1)	30(1)	38(1)	34(1)
旭小	30	37	30(1)	30(1)	28(1)	23(1)	19(1)	25(1)
剣崎小	4	11	7(1)	8(1)	12(1)	17(1)	0	10(1)

※5・6年生については、令和2年7月1日現在の1・2年生の実数で計上

さらに小規模校化が進むと

子どもたちの「学び」に弊害が…

- 集団の中で、多様な考えに触れる機会や学び合いの機会、切磋琢磨する機会が少なくなる。
- 共に努力してより良い集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。
- 児童数、教職員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、専科教員による指導など、多様な学習・指導形態での「学び」が困難。

➔ **基礎・基本を定着させる授業、「主体的・対話的で深い学び」を実現させる授業が十分にできない** **「生きる力」の学びが保証できない**

さらに、

- 人間関係や相互の評価が固定化しやすい。
- 集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある。

三浦市の現状を踏まえ、

教育の質の向上を図っていくためには、どうしたらいいか・・・

▶ 『**小学校適正規模(12学級以上18学級以下)の確保**』
が何より必要!

▶ **そのことによって・・・**

▶ ① **学年複数学級(一学級一定数の児童確保)**

▶ 「主体的・対話的な深い学び」の授業づくりができる

▶ ② **学年複数担任**

▶ 複数の教員の目で学年の子どもたちの成長を見守ることができる

▶ 教員が日常的に学び合い・高め合える環境が整う

▶ 質の高い「学級経営」・「授業」を子どもたちに提供できる

「教育の質」の確保

【三崎地区の3小学校を1校に統合した場合（R6年度）】

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
クラス数	2	2	2	2	2	2
1クラスの人数	35	31	32	31	32	31

【南下浦地区の4小学校を1校に統合した場合（R6年度）】

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
クラス数	3	3	3	3	2	3
1クラスの人数	28	27	29	30	34	30

適正規模を確保することのメリット【学習・生活面】

- 集団の中で、多様な考えに触れられる。
- 運動会など学校行事に活気が生まれる。
- 習熟度別、専科教員配置など、多様な学習・指導形態をとることが可能。
- クラス替えがある。
- クラス同士の切磋琢磨。

適正規模を確保することのメリット【その他】

- 子どもにかかる保護者負担が小さくなる。
- PTA活動等において、保護者負担を分散できる。
- 経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教員配置ができる。
- 学年別教員同士で、相談・研究・協力・切磋琢磨が行える。

そのために・・・

小学校の統廃合を実施

▶ **そのことによって・・・**

▶ **1中学校区1小学校の学校体制**

▶ **そのことを生かし・・・**

▶ **『三浦らしい』小中一貫教育の実践**

地域とのつながりの太さ
子どもを見守る地域の
温かさ

9年間の連続した
きめ細かな指導

なぜ「小中一貫教育」を行うのか

① **目指す子ども像の共有**ができる

- 小中学校で学校教育目標を共有する
- 9年間を見通したきめ細やかな教育

② **効果的な児童生徒指導**ができる

- 過去の情報を共有する
- 未然防止
- 多角的な児童生徒指導、保護者対応
- 早期対応による深刻化・長期化の防止

小中一貫教育で期待できる効果

【学習指導上の効果】

- ・ 各種学力調査の結果の向上
- ・ 学習意欲の向上
- ・ 授業の理解度の向上、学習に悩みを抱える児童生徒の減少

【生徒指導上の効果】

- ・ 「中1ギャップ」の緩和
- ・ 学習規律・生活規律の定着、生活リズムの改善
- ・ 自己肯定感の向上、思いやりや助け合いの気持ちの育成
- ・ コミュニケーション能力の向上

【教職員に与える効果】

- ・ 指導方法の改善意欲の向上、教科指導力・児童生徒指導力の向上
- ・ 小中学校間における授業観や評価観の差の縮小
- ・ 小学校における基礎学力保障の必要性に対する意識の高まり

【その他】

- ・ 保護者との協働関係の強化、地域との協働関係の強化

「三浦らしい小中一貫教育」のイメージ

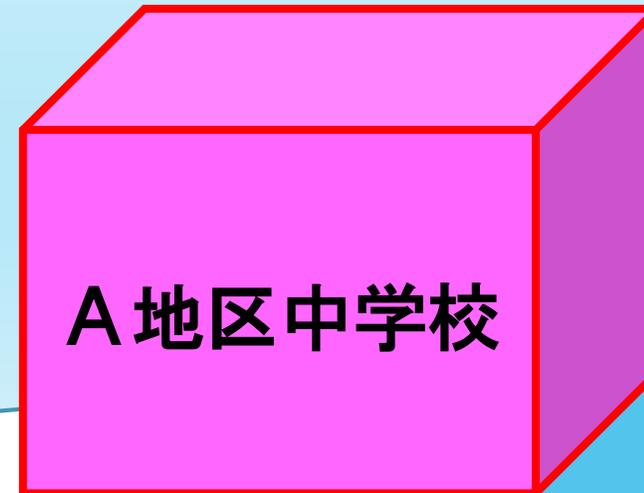
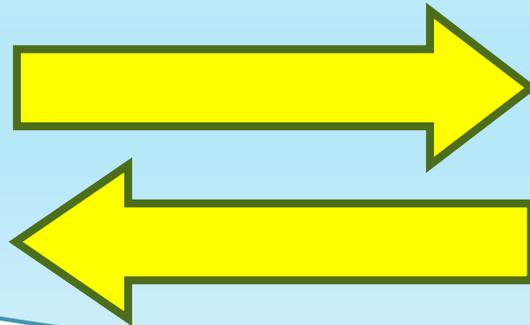
9年間を見通した教育課程

初声地区で
先行実施

☆ **共通の学校教育目標**の設定
(**地域と育てたい子ども像を共有**)

☆ **学校・教員の交流** (授業・行事・研究会等)

☆ 小・中9年間を見合える **きめ細かな生徒指導**



施設分離型

課題

通学路の確保
使用校の改修
避難所の確保

通学費の経済的負担
廃校施設の管理・利活用
等等

①学年複数学級



主体的・対話的な
深い学び

②学年複数担任



教員の日常的な
学び合い

③小中一貫教育



9年間で目指す
子ども像の共有

三浦市学校教育ビジョン

～すべては子どもたちのために～